



キャンパス通信



Vol.17

2022年10月1日

巻頭言／1

「一新紀元」、3年ぶりの
ND祭の通常開催を喜びあいたい

News／2

輝くND生／6

Report／13

各部局から／18

行事予定／20

2021就職・進路実績、編集後記／21



学生部長
佐藤 純

「一新紀元」、3年ぶりのND祭の通常開催を喜びあいたい

新型コロナウイルスの感染拡大は、学生生活のさまざまなものを奪っていきました。友だちとワイワイとたわいもない話をする、一緒にご飯を食べて夜遅くまで語り合う、旅行に一緒に出かける、一生懸命クラブ活動に取り組み合宿をして試合に臨む…。それまで大学生にとって当たり前だった学生生活の楽しみや面白さをすべて奪っていきました。本当にすべてです。

でも、このような事態であっても、学生ひとりひとりが少しでも生き生きと学生生活を送ってほしい。学生部の教職員は、一生懸命学生生活の応援をしています。保健室の職員は新型コロナウイルスから学生が護られるよう、感染予防と感染した学生へのきめ細やかな対応をしています。学生相談室の職員は、コロナ禍の学生の心のケアに心を尽くして関わっています。学生課の職員は、クラブ活動の火が消えないようイベントを行ったり、学生の気持ちが折れないようにキッチンカーの飲食イベントをしたり、経済的に厳しくなった学生に奨学金の相談にのったり、年末に食品などを配付したりと、たくさんの業務をへこたれることなくしなやかに対応しています。これらの応援については学科の学生委員の先生をはじめ、多くの教職員がバックアップをしてくださっています。

教育や研究が大学の縦糸とすると、学生生活の応援は大切な横糸。決して目立ちませんが、本学では何層にも横糸を編み込んで、学生を応援しています。幸いに途中で大学生活を諦める学生は新型コロナウイルスの影響をほとんど感じさせないような数であり、学生ひとりひとりの頑張りをほめたたえるとともに、教職員ひとりひとりの尽力に心から感謝したいと思っています。

2022年10月、本学の大学祭であるND祭は3年ぶりの通常開催を計画しています。今年のND祭実行委員は50名以上という大所帯、やる気十分に準備を進めています。選んだND祭のテーマは「一新紀元」。以前のようなND祭を取り戻すのではなく、「新たな」ND祭を始めるのだというND祭実行委員の意気込みが伝わってきます。といいますのも3年ぶりということはND祭実行委員も全員通常のND祭を知らない世代です。きっと伝統も踏まえつつ「新たな」ND祭を私たちに届けてくれることと思います。

当日は、在学生や教職員はもちろん、卒業生や関係者のみなさまも、新型コロナウイルスの感染予防に努めながらND祭にぜひ足をお運びいただければと思います。みなさまの応援がきっと学生ひとりひとりに新たな「大学の思い出」の1ページを届けてくれることと思います。みなさまの応援、どうぞよろしくお願いいたします。

新任教員紹介



現代人間学部 心理学科
講師
下田 麻衣

2022年4月より現代人間学部心理学科に着任いたしました。専門は社会心理学、消費者心理学です。大学院では「なぜ人は誘惑に負けてしまうのか」について関心を持ち、学業場面や不正場面、ダイエット場面などの自己制御過程について研究してきました。今後は、学生のみなさんが社会心理学や消費者心理学に積極的に関わりたい、学びたいと思えるような授業づくりに努めていきたいです。

2022年4月 国際教育センター発足

京都ノートルダム女子大学は、文化の多様性を理解し、異文化に対する寛容な国際感覚を身につけ、幅広く社会に貢献できる人材を養成することを国際交流の基本理念としており、これに基づく活動をより積極的に推進する目的で、2022年4月1日に国際教育センターを発足しました。今までの国際交流活動・業務に加え、更なるInternationalizationを目指し、さまざまな活動を行っていきます！

国際教育センターの開設にあたって

国際教育センター長
スティーブン・ハーダー



世界はさまざまな面で大きく変化しており、私たちはこの進行中の変化に対応するために、グローバルな視点が必要となる時代を生きています。日本の将来にとって女性のリーダーシップは極めて重要であり、本学はこうした課題に対応する女性の教育の一翼を担っています。

京都ノートルダム女子大学の国際教育センター(IEC)は、毎年アジアを中心とした多くの国から、この美しいキャンパスに留学生を迎え入れています。また、日本人学生の語学力向上と国際人育成のために、世界各国の提携校への留学を推進・支援しています。さらには、英語、日本語、韓国語、中国語など母国語でない言語の上達に挑戦できるイマージョンスペース(i-Space)を、学内のあらゆる学生に提供しています。

IECでは、知識、技術、経験、思い出を得る体験を通して、「ノートルダムファミリー」であるすべての人々に生涯学習の機会を提供することに努めています。

【2022年度の国際交流活動(予定)】

- ・イマージョンスペースを活用した英語イベント
- ・TOEIC Club (TOEIC勉強会)
- ・留学生交流イベント(日本語Café ～Sawakai～)
- ・多読ライブラリーの充実化 などなど



2022年7月実施 イマージョンスペースを活用した英語イベント



2022年6月実施 留学生交流イベント(日本語Café ～Sawakai～)



2022年6月実施 TOEIC Club (TOEIC勉強会)

Wolfram Research, Inc.と産学連携協定を締結

開催日:2022年4月26日(火)

4月26日(火)、本学とWolfram Research, Inc.(ウルフラムリサーチ)との産学連携協定締結式を執り行いました。

Wolfram Research, Inc.からは金光安芸子氏と北村美穂子氏が出席し、中村学長より「1990年代からコンピューターセンターを設置しWEBサイトをオープンさせ、積極的に情報教育に取り組んできた本学がWolfram Research, Inc.と協定を締結できることをとても嬉しく思います。双方で2023年4月新設予定の社会情報課程の発展と人材の育成に努めていきたいと思えます。」と挨拶があり、金光氏からは「本学が日本の大学と協定を締結するのは初めてです。この締結を社会情報課程の学びに良い形で結びつけていきたいと思えます。」との言葉がありました。



左/金光安芸子氏 右/中村学長

この協定は、1992年から30年間「情報教育」を推進している本学と、AIテクノロジーを統合し様々なソフトウェア開発を行うグローバルIT企業のWolfram Research, Inc.との「情報教育」推進及び人材育成を目的としています。今後は情報関連の授業やインターシップ等で協働し、数理・データサイエンス・AIに関する教育研究の推進および人材育成により連携を進めていく予定です。

華頂女子高等学校と高大連携協定を締結

開催日:2022年8月2日(火)



8月2日(火)、本学と華頂女子高等学校(京都市東山区、校長前田千秋)は、高大連携に関する協定の締結、調印式を執り行いました。

本協定では、教育に関する情報交換や協議はもとより、大学入学前教育や本学教員による出張授業の実施、大学授業科目や公開講座への高校生への受け入れ、推薦入学の促進等、両校にとって相互に有益な連携事業を行います。

協定書の締結・調印式にあたっては、学長と校長の挨拶後、厳かに調印式が行われ、今後の高大連携事業の可能性について確認を行いました。

株式会社ロマンライフと産学連携協定を締結

締結日:2022年8月24日(水)

『京都北山 マールブランシュ』のブランド名で事業展開している株式会社ロマンライフと本学は、2022年8月24日(水)に産学連携協定を締結しました。

同社とは現代人間学部心理学科専門教育科目『社会・ビジネス心理フィールド研修』において、PBL授業として2014年から連携させていただいたことにより、今回の産学連携協定締結となりました。『社会・ビジネス心理フィールド研修』では、企業様のご協力の下、心理学科で修得するアンケートや統計の知識やスキルを活用しながら、企業が行うマーケティング・リサーチや商品企画開発に関する一連の調査過程を体験します。

学生の様々な提案に対し、マーケティングの専門家より丁寧なフィードバックや数々の助言を頂くことは、学生にとって大変貴重な体験であり、その後の学び、キャリアにつながっているようです。

今後も同社と様々な取り組みをさせて頂きながら、学生が消費者の皆様や社会にも貢献できる様な提案をしていただけることを期待したいと思います。



「ND協働プロジェクト」がスタート

現代人間学部 生活環境学科では、焼きたてのパンや焼き菓子・手作り作品の学内販売等、障害者就労支援事業所と協働した教育活動を展開しています。

生活環境学科では、この活動を「ND協働プロジェクト」として3ゼミ合同で取り組み、さらに発展させていきます。2022年後期より、京都市北部障害者自立支援協議会に参加している障害者就労支援事業所等15の施設が参加し、各施設の商品をより広く販売していきます。

この活動に対し、京都イブニングロータリークラブ様からご賛同いただき、活動に使用するためのショーケースを3台、寄贈い

ただきました。寄贈いただいたショーケースに15の障害者就労支援事業所等の商品を展示し、多くの学生、教職員に目にしていただく機会をつくります。

ショーケースの設置場所は、ユージニア館1階食堂出入口付近、ユージニア館4階ラミティエ内東側、キャロライン館1階アセンブリホールです。

学内にはすでにショーケースが飾られ、素敵な商品が並んでいます。バリエーション豊かな商品を目にしなが、後期からの販売スタートを楽しみにお待ちください。



京都市と連携協定を締結～ふるさと納税を活用して大学・学生と地域の連携を支援～

本学は、ふるさと納税を活用した大学・学生と地域とのさらなる連携強化を図るため、京都市と連携協定を締結しました。この連携協定は「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力向上に向けた京都市と市内大学の協働の取り組みで、2022年度は京都市内の24大学が参画しています。

本学は、地域社会と連携した貢献活動に今後も積極的に取り組み、学生の主体性や課題解決力向上、地域活性化に貢献していきます。

【協定内容】

- ① ふるさと納税の活用促進に関すること
- ② 大学・学生と地域の連携強化等に関すること
- ③ その他双方が必要と認めること

【本協定に基づく取り組みの概要】

2022年4月1日より、京都市にふるさと納税をする際「寄付の使い道」の一つとして『「大学のまち京都・学生のまち京都」の推進～市内大学と協働!学生さんの挑戦を応援!～』メニューを選択すると、返礼品が貰え(※)、税制上の優遇措置があり、寄付金は京都ノートルダム女子大学及び京都市で取組む大学・学生と地域との連携促進事業等に活用されます。

※総務省の告示により、京都市内にお住いの方には、ご寄付いただいても返礼品を送付できません。



京都の女子大学で初! 京都府とキャリア教育科目を開講

本学は京都府と協力し、キャリア形成ゼミで『仕事と育児の両立体験・ライフデザイン探求ゼミ』を今年度より開講しています。

共働き世帯が1247万世帯と、専業主婦世帯の倍以上となり、仕事と子育ての両立が当たり前の社会になりました。京都府では、仕事と育児の両立に不安を感じている大学生らが「京都で働きながら、子どもを生み育てる」ことを体験的に学ぶ「仕事と育児の両立体験プログラム」を、府内大学等と連携して2017年度から実施しています。

本学も女子学生のキャリア意識を高めるため、1年次より多彩なライフキャリア科目を開講し、2,3年次には学生の就業力向上を目的とした、PBL(問題解決型)授業「キャリア形成ゼミ」を2011年からスタートしています。本学の「キャリア形成ゼミ」と京都府の「仕事と育児の両立体験プログラム」の実施の目的が合致することから、京都府の「仕事と育児の両立体験プログラ

ム」を組み込んだ『仕事と育児の両立体験・ライフデザイン探求ゼミ』を、女子大学として初めて開講することとなりました。



2021年度「仕事と育児の両立体験プログラム」体験実習の様子(写真は京都府提供)

教員著作紹介



平野 美保(国際言語文化学部 国際日本文化学科)
『コミュニケーション能力育成—音声表現研究をベースとした話しことば教育』
ナカニシヤ出版 2022年

コミュニケーションの力は能力差、多様性が大きいですが、実社会に資するコミュニケーション能力を育成していくために、何をどのようにしていけばいいのでしょうか。

本書は、音声に関する先行研究を手がかりに、音声表現スキルの学習プログラムをデザインし、内容・方法に関して示唆を得たうえで、コミュニケーション能力育成へと進めていった研究成果です。特に後半は、本学国際日本文化学科で実施している「話しことばプログラム」について述べています。

本書の研究の一部は科研費の助成を受け、本学の研究助成によって刊行されました。この場を借りてお礼申し上げます。



佐藤 真太郎(現代人間学部 こども教育学科)
『学校教育の未来を切り拓く 探究学習のすべて』
合同出版 2022年

学習指導要領の改訂により、「総合的な学習の時間」は「総合的な探究の時間」に変更となり、2022年度から、「理数探究」「古典探究」などが新設されています。現在、学校教育現場では、効果的な探究学習の実践方法が検討されています。

本書は、探究学習の研究と実践を行ってきた環境探究学研究会が、環境をテーマにした課題解決を通して環境の課題を自分ごととし、考えを深める過程を楽しむ探究学習について、すぐに実践できる効果的な指導方法を紹介する本です。本書を通して、全国の先生方が探究学習に意欲的に取り組み、そして多くの子もたちが学ぶ楽しさを味わうことができる一助となることを願っています。

輝く生

3年ぶりに第61回ND祭を開催します!! 今年の大学祭テーマは『一新紀元』

開催日:2022年10月29日(土)・30日(日)

これまで私たちは新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、学生イベントが次々と中止になり、対面ではなくオンライン講義が実施されるなど、行動制限ありきの学生生活を送ってきました。

表情が見えにくいマスク越しのコミュニケーションが日常となった今を過ごしてきた私たちだからこそ、「みんなで交流できるイベントを実施したい」という前向きなエネルギーを絶やすことなく持ち続けています。

今年こそは一般の方にも参加いただき、模擬店も実施するかつての全NDフェスを復活させ、withコロナ時代の新たなND祭を創り上げたいと思いを込めて、このテーマに決定しました。

今年度のND祭は10月29日(土)、30日(日)に開催します。メインイベントとして、29日(土)にミルクボーイさん、セルライトスパさんのお笑いライブを、30日(日)にはドラマ「ドラゴン桜」「家庭教師のトラコ」など数々のドラマや映画で活躍されている俳優・細田佳央太さんをお迎えして魅力的なトークショーを開催することが決定しています。

また、エステやお肌診断で有名なPOLAさんにお越しいただき、女子必見のお肌診断やワンポイントメイクアドバイスなどをしていただきます。さらに、クラブやゼミ、地域の事業者の方々による模擬店の復活をはじめ、本学の学生による日頃の活動の成果をご覧いただくクラブ発表も両日開催いたします。例年大好評の、ディズニーランドのチケットやベアの温泉旅行券などの豪華景品が当たるビンゴ大会や寄席、スタンブラリーなどこの他にも様々なイベントを企画しています。

今年度のND祭実行委員は3部門で総勢54名となりました。新たな企画に向けて準備を進めていく中で、部員それぞれが今出来ることを全力で取り組んでいます。

また、昨年度京都ノートルダム女子大学は創立60周年を迎えました。普段なかなか本学について知る機会のない皆様におかれまして

も、ND祭が京都ノートルダム女子大学を知っていただく良い機会となれば幸いです。

私達実行委員のND祭を開催したいとの思いが実現できたのも、学長先生をはじめ多くの先生方のご協力あってのことと心より感謝いたします。このことを心に留め、感謝の気持ちを忘れずに当日に向けて実行委員一同頑張っています。

2022年度ND祭へのご来場を心よりお待ちしております。
(ND祭実行委員長 英語英文学科 3年次生 新井 尋日)



手作りお菓子コンテストで本学学生が優秀賞を受賞

現代人間学部生活環境学科3年生岸田美咲さんが、共立食品株式会社第52回バレンタイン&ホワイトデー手作りお菓子コンテストで優秀賞を受賞しました。

岸田さんはニックネーム“こほ”さんとして「ぎゅうひ国のくうちゃん ゆうちゃんショートケーキ」に応募、171件の中から優秀賞に選ばれました。現在3年生の岸田さんは、所属している福祉ゼミでお菓子作りと福祉について研究していきたいと考えています。生活環境学科のブログでも、このコンテスト受賞について岸田さんのインタビューを紹介しています。ぜひご覧ください。



生活環境学科ブログ
ラボLetter



新入生歓迎イベント、フレッシュマンセミナーを開催

2022年4月6日(水)

4月6日(水)、1年生を対象にさまざまな歓迎イベントを開催しました。

午前中は、学科ごとにフレッシュマンセミナーを実施。フレッシュマンセミナーは、新入生がスムーズに大学生活に入れるよう、同級生はもちろん先輩や先生と交流する機会を設け、先輩たちが工夫を凝らした内容を企画し、新入生のみなさんをお迎えします。

ユニゾン会館大ホールにて全体説明が行われたのち、学科ごとのレクリエーションがスタート。ポスターセッションやクイズ大会、先輩とおしゃべりなどで交流し、スタンプラリーでは教員研究室やキャンパス内を散策しました。

午後は、クラブ体験イベントとND祭実行委員会による新入生歓迎会のピンゴ大会が行われました。総クラブが企画したクラブ体験イベントでは、各クラブを回ることに桜の花びらをゲット。花びらを5枚集めると景品がもらえるというもので、たくさんの1年生が参加しました。



生活環境学科



新入生歓迎イベントとしてフレッシュマンセミナー&クラブ体験を4月6日に行ないました。生活環境学科のフレッシュマンセミナーでは、グループごとに教員の研究室や学内を散策しながら簡単なスタンプラリーをする学内オリエンティングで学科の親睦を深めました。午後は全学科共通で学生主催のクラブ体験を行ないました。新入生からは「友人ができて楽しかった」「先輩や先生と話せてよかった」等の感想があり、有意義な時間となりました。

英語英文学科



英語英文学科のフレッシュマンセミナーが、4月6日に開催されました。新入生は、これから始まる大学生活に期待を寄せ、笑顔で先輩のウェルカムスピーチを聞いていました。その後、グループに分かれて、自己紹介ポスターセッションを行いました。各自が工夫を凝らしたポスターを作成しており、英文自己紹介だけでなく、思い出の詰まった写真や個性あふれるイラストを入れていました。自分のことをクラスメートに発信するだけでなく、新しい友達のことを深く知ることができ、有意義な時間となりました。新入生は「英語でのスピーチは緊張したが、とてもよい機会となりました。」というポジティブなコメントを残しており、彼らにとって貴重な体験であったことが伺えます。

心理学科



心理学科では新入生、上級生リーダーと教員が参集し、お互いを知る活動や学内探検と称したスタンプラリー形式で交流を行いました。セミナーの企画・運営は、学部・大学院生のリーダー10名により進められ、当日は新入生のサポート役にもなり、頼もしい限りでした。新入生の感想では、「話したことがない人と話しができた」「先輩と気軽に話せて楽しかった、安心感があった」など、大学生活の一步を踏み出す準備になったのではないのでしょうか。

国際日本文化学科



国際日本文化学科では、「友人を作り、大学について知る」ことを目的として、2~3年生の11名がリーダーとなって、テーブルごとに「授業」「部活」「アルバイト」などの大学生活に関わるテーマについて質問したり、話し合ったりできるトークコーナーを設けました。新入生は好きなテーマのテーブルを回りながら上級生と語り合い、先輩から大学について教わりながら、新入生同士も交流を深めることができ、和気あいあいとした楽しい時間を過ごしていたようです。(文責:中里郁子)

こども教育学科



こども教育学科では、新入生を歓迎し、新入生相互や上級生、教員との交流を通して、大学生活になじむことを目的にフレッシュマンセミナーが行われました。

こども教育学科の先生方の研究室や特別教室をめぐるスタンプラリーやピンゴゲーム大会をしました。ゲームの景品は特別支援学校卒業生が働く事業所のクッキーなどです。上級生の中にはフレッシュマンセミナー未体験者もいて、新入生とともにいい時間を過ごしました。

入院中の子どもたちに向けて、 オンライン実験教室「NDラボ」を開催

開催日:2022年3月15日(火)

3月15日(火)、現代人間学部横断プログラム科目「病児の発達と支援」の修了生が、京都市立桃陽総合支援学校の京都府立医科大学附属病院分教室、京都大学医学部附属病院分教室と合同で小児医療ボランティア活動を実施しました。

例年は病院を訪れ、対面で開催していますが、コロナウイルス感染症のため昨年度の開催は中止。今年度は学生のアイデアを活かし、オンライン実験教室「NDラボ」を開催しました。

学生たちは、画面を通して楽しめる企画は何か、どのような流れで楽しんでもらうかを検討してきました。入院している子どもたちには事前に「ND(ノートルダム)ラボ 招待状」と実験で使う道具を発送し、当日はZoomで画面を見ながら一緒に科学実験に参加してもらいました。子どもたちは、青色のアントシアニン色素の色の変化や、ブラックライトに反応するものはどれ?など様々な実験に夢中になって楽しんでいる様子でした。学生たちの笑顔と、緊張がほぐれた子ども

たちの笑顔があふれたひと時となりました。



交通安全ボランティア「ガーマFrieND」 委嘱式が執り行われました

開催日:2022年6月3日(金)



6月3日(金)下鴨警察署の方が来学され、交通安全ボランティア「ガーマFrieND(ガーマフレンド)」の委嘱式が執り行われました。「ガーマFrieND」は、学生会メンバーで構成されたボランティアチームで、2012年

に結成されました。「ガーマFrieND」の名称は、下鴨警察署のオリジナルキャラクター「シモガーマ」の「ガーマ」と、交通安全の輪をフレンドリーに広げるという意味でつけられ、語尾の「ND」はノートルダムのNDを表しています。

2020、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動ができず、3年ぶりの活動再開で、大学生の関与する交通事故発生状況などについての研修を受けました。

今後は下鴨警察署と一緒に、ND生ならではのアイデアで大学の学生や左京区民の皆様を対象に、交通安全啓発活動に取り組んでいく予定です。

新入留学生サポートイベントを開催

開催日:2022年4月7日(木)

4月7日(木)、在留留学生による新入留学生サポート「留学生の先輩が相談ののてくれます」をユージニア館イメージスペースにて開催しました。

このイベントは、大学生活についての相談や悩みを持つ後輩留学生の力になりたいと、在留留学生が自ら企画したもので、自分たちの経験を基に、複雑な単位取得の仕組みや学生生活についてアドバイスをしました。

新入留学生は、授業の選び方や履修登録の方法などを熱心に聞いていて、新しく始まる大学生活に向けての和やかな交流会となりました。



『おふる部』バスボムづくり体験を実施しました

現代人間学部福祉生活デザイン学科「住環境学ゼミ」(竹原広実教授)では、日本の入浴文化を再評価しておふる好きを増やすことを目的とする、株式会社ノーリツが運営する『おふる部』の活動に参画しています。

活動の一環として京都市上下水道局から職員を招き、京都市の水道の歴史のミニ講義を受講し、その後、バスボムづくり体験を実施しました。

今回修得したバスボムづくりは、10月開催のND祭と、11月26日に実施される京都市主催『いい風呂の日』イベントでワークショップを行

います。ワークショップを通して、おふる時間をもっと好きになってもらい、おふるでできるSDGs活動の啓発を行います。



有志学生がウクライナの人道支援のための 募金活動を実施

開催日:2022年4月13日(水)



4月13日(水)、カトリック教育センター「エンジェルの会」に所属する学生メンバーが、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受け、ウクライナの人道支援募金のための募金活動を実施しました。

この取組みは、エンジェルの会のメンバーから「ウクライナの戦争で苦しんでいる方々のために自分たちにできることを行いたい」という希望が出され、学内に募金箱を設置し、4月2日の入学式には新入生の保護者の皆様にも多大なご協力をいただきました。

募金は、カトリックの人道支援団体である国際カリタスジャパンを通して、ウクライナの人々の人道支援のために全額送られます。

この取組みは京都新聞から取材を受け、4月15日の京都新聞(朝刊)社会面に掲載されました。

本学学生がICCO(文化交流創成コーディネーター)資格を取得

国際日本文化学科4年次生の小泉舞華さんが、ICCO(文化交流創成コーディネーター)資格を取得しました。

ICCOは日本国際文化学会が認定する資格で、文化の枠を超えて活躍できる人材に必要な知識と実践力を修得していることを認定するものです。

国際日本文化学科では所定の単位を取得し、同学会主催の短期セミナーに参加することで資格を取得できます。グローバル化が進むな

か、多様な文化をつなぎ、新たな文化の創成を促し社会に貢献する実践者の役割が期待されています。

日本語や日本文学、日本文化・国際文化を幅広く学ぶ本学科では、この資格取得を推進しており、同学科で展開する「国際観光プログラム」で、深い文化理解をベースとした観光人材育成にも力を入れています。

ICCO資格の詳細はこちら



私は1年生の時に、文化交流創設コーディネーターの資格を取ろうと決め、日本国際文化学会が主催する短期集中セミナーに参加しました。

このセミナーでは全国の大学生と協力し、様々な社会の課題を見つけて研究し、その解決策を探るというもので、私のチームは「舞妓とインバウンドの関係性」について研究しました。

この経験を通して、自身に何が足りないかを把握することができ、その後の大学生活では、外国文化や特色を知るために語学に力を入れました。英語だけでなく、アラビア語や中国語などの講義を受け、より深くその国の文化や特色を理解することが出来るようになりました。

また、この資格を活かし、就職活動ではグローバルな視点をアピールする事ができました。グローバルな仕事がしたい、観光系に行きたい学生にオススメの資格なので、ぜひチャレンジしてみてください。

国際日本文化学科4年 小泉 舞華



本学学生が左京区まちづくり活動支援交付金を獲得!

京都市左京区では、平成24年度から「左京区まちづくり活動支援交付金」を創設し、区内で自主的に取り組まれるまちづくり活動を支援しています。令和4年度の「左京区まちづくり活動支援交付金」に、本学の在学学生4人が申請した事業が採択されました。事業名は「左京区活性化プロジェクト」。コロナ禍で活動制限があった学生たちが、区内の施設を利用したワークショップイベントを通じて学生間の交流の

場を創出したいという思いから実現させる事業です。今回の交付金事業に応募した京都ノートルダム女子大学の4名の学生は3年次生で、入学してから今年の秋まで対面授業や部活動・サークル活動に制限がありました。この事業を知り、他大学の学生との交流・学習の場を創出したいと考え、以下のイベントを企画中です。次号の「NDキャンパス通信」で、イベントの詳細をお知らせ予定です。

開講月日	イベント名	内容
2023年 1月14日(土)	ゆるっとみらいトーク	・他大学の学生同士が就職活動を主軸とした情報交換や対話により交流を図る。 参加対象: 左京区内にある大学に通っている学生(高校生も可)



令和4年度左京区まちづくり活動支援交付金 交付対象事業一覧 (左京区ホームページより)

左京区※はなまちチームのメンバー
藤野有莉(英語英文学科 3年次生)
佐々木鈴(英語英文学科 3年次生)
林陽菜(英語英文学科 3年次生)
新谷ゆき乃(英語英文学科 3年次生)
※写真左から



2022年度特待奨学生証書授与式

開催日:2022年7月20日(水)

2022年7月20日(水)12:30より、ユージニア館3階NDホールで、2022年度特待奨学生証書授与式を執り行いました。中村学長より2年次から4年次の特待奨学生一人ひとりに、証書および奨学金10万円が目録が手渡されました。

特待生奨学金は、前年度に極めて優秀な成績を収め、かつ人物が優れ、ほかの学生の模範であると認められた者に給付されるものです。特待生として認められた皆さんが、知性と品性を兼ね備えた自立した女性を目指してさらに熱意をもって勉学に励み、本学のリーダーとして活躍されることを期待しています。



特待奨学生

4年次生

英語英文学科	辻際 天音
国際日本文化学科	河野 有紗
福祉生活デザイン学科	松村 優希菜
心理学科	田井 笙子
こども教育学科	今村 羽衣

3年次生

英語英文学科	大須賀 凧
国際日本文化学科	服部 千笑
福祉生活デザイン学科	小崎 遥南
心理学科	伊藤 愛香
心理学科	中村 優花
こども教育学科	石井 陽

2年次生

英語英文学科	渡邊 愛衣
国際日本文化学科	磯崎 彩雪
生活環境学科	中山 琴音
心理学科	黒川 京美
こども教育学科	伊藤 智愛



派遣、受入ともに

コロナ禍を乗り越え、留学が再開

藤原 さくらさん

国際言語文化学部 国際日本文化学科4年生

留学先 韓国カトリック大学(韓国)
留学制度 韓国カトリック大学交換留学
留学期間 2022年2月~2022年6月

韓国カトリック大学交換留学に参加して

私は2月から6月までの約半年間、韓国カトリック大学に交換留学生として派遣されました。留学中は語学堂に通い、学部の授業を受け、現地のサークルにも参加しました。元々、韓国の文化に興味があったことから語学の勉強を始め、実際に韓国語を使って生活をしたい、自分の目で韓国という国を知りたいと思い留学を決めました。

韓国人の大学生は、遊びと勉強の切り替えがしっかりしていて遊ぶ時は思いっきり遊びますが、テスト週間になると図書館やカフェが学生でいっぱいになります。私もその姿を見て自分のモチベーションを上げることができました。

また、情に厚い民族性的一面があり、私のために色々お手伝ってくれたり相談をすると真摯になって悩んでくれました。ありがとうございましたと何度も伝える私に対して、当たり前のことだよとってくれる友人たちに、留学中何度も助けられました。

コロナ禍での留学ではありましたが、充実した半年間を過ごすことができ、大切な友達もできました。人と人との繋がり、大切さをこのコロナ禍だからこそ改めて気づかせてくれたこの半年間は私にとってかけがえのない時間です。



藤原 さくらさん



斉冰炎さん

国際言語文化学部国際日本文化学科2年生

コロナ禍と日本留学

学校に来られることは、とても幸せなことだと思っています。中国で一人でオンライン授業を受けている時、先生方はとても親切に面倒を見ていただきましたが、やはり寂しく感じました。毎日、入国に関する新しいニュースに目を光らせて、早く皆さんと一緒に学校に行きたいと思っていました。ビザを取得し、フライトを予約したときは本当に興奮しました。しかし、興奮に加えて不安もありました。学校生活に馴染めるか、自分の日本語レベルで他の学生とコミュニケーションが取れるか、とても心配でした。幸いにもフライト、入国後の待機ともに問題はなく、スムーズに学校まで行くことができました。初めての対面授業では、授業のペースに慣れるまでが大変でした。先生の話している内容がどこかわからなかったり、テスト範囲を間違えてしまったりすることがよくありました。でも、先生もクラスメイトも、みんながたくさん助けてくれました。最初はクラスメイトと話すのが怖かったのが、今でも文法的なミスはありますが、みんなに自分の考えを言えるようになりました。この学校で勉強できることは、とても幸せなことだと思っています。これからの大学生活もうまくいくように頑張っていきたいです。



写真後列
一番左が音さん

ND教育センター・FD委員会共催

DX推進の活動報告と数理・データサイエンス・AI教育の高大連携授業公開

「“文系”“女子”小規模大学のデジタル活用と高大接続教育の未来」を実施

開催日:2022年3月9日(水)

第1部は、ノートルダム女学院高等学校ブレップ総合コース2年生の連携授業「みらいデザイン☆ハイスクール」に学校教育関係者も招くかたちで実施しました。Wolfram Research, Incの北村美穂子先生と金光安芸子先生から、『身近なデータで機械学習～AIは「きのこの山」と「たけのこの里」を見分けられるか?～』と題して、講師自作のチョコ判別のアプリを各自のスマートフォンから使うことで、AIの仕組みやプログラミングが具体的に学べる講義を行いました。

第2部は、「京都ノートルダム女子大学のDX推進計画および数理・データサイエンス・AI教育の取り組み」として、DX推進計画進捗状況の報告と、学生・教員それぞれに実施したアンケートをもとにオンライン授業の教育効果に関する分析の報告を行いました。つづいて、神月紀輔教授とノートルダム女学院高等学校霜田慶介教諭が、高等学校における情報教育やデータ活用の教育、教育におけるICT活用、2023年度開設予定の社会情報課程への期待などについて対談を行いました。

参加者: 第1部 女学院生徒63名、教職員14名
第2部 来場者とウェビナー参加者合計42名

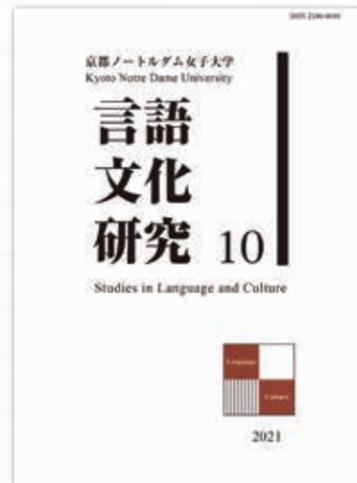


『言語文化研究』第10号(電子版)が発刊されました

2022年3月に『言語文化研究』第10号が発刊されました。『言語文化研究』は京都ノートルダム女子大学における「ことば」、「コミュニケーション」、「文化」の領域に広く関わる研究成果の発表の場として、年1回の刊行を重ねてきました。執筆者とタイトルは下のとおりです。

【原著論文】

- ・補文主語の標示: カートグラフィー理論に基づく日・英語の比較(英語英文学科 田口 茂樹教授)
- ・ディケンズと鉄道再考: 魅力、幻影、恐怖(英語英文学科 木島 菜菜子講師)



『言語文化研究』は、京都ノートルダム女子大学学術リポジトリよりWeb公開(無料)しています。
京都ノートルダム女子大学学術リポジトリ「のあ」



満開の桜に迎えられ、2022(令和4)年度入学式を挙行

開催日:2022年4月2日(土)

春の青空が広がり桜が満開に咲いた4月2日(土)、ユニソン館大ホールにて2022(令和4)年度入学式を執り行いました。今年度は、編入生を合わせて学部生216人、大学院生12人が入学しました。

新型コロナウイルス感染対策のため、保証人は新入生1人につき1人が参加、式の様子はオンラインで中継されました。

式では、中村学長が「講義やゼミで交わされることば、キャンパスでの友人との語り、あるいは実習やフィールドワークでの様々な出会いと経験から感じ取ったことを自分で育て、生きる力を養ってください。本学の建学の精神は「徳と知」。それを体現していくための行動指針「尊ぶ」「対話する」「共感する」「行動する」の4つの動詞で表すミッションコミットメントを大切にしています。ここを、そして今日を出発点に、互いに関わり合いながら共に学んでいきましょう」と祝いの言葉を述べ、和田理事長と保護

者会からも祝辞がありました。新入生からは誓いの言葉として、「この日を迎えた私たちは、それぞれの夢や希望を持ち、これから始まる大学生活に期待を膨らませています。出会った仲間達と共に互いに切磋琢磨し、支え合いながらこの4年間を大切に過ごしたいと思っております。」と語りました。

その後、聖ヴィアートル修道会ウィリアム神父様の司会にて『みことばの祭儀』が執り行なわれ、祝福の言葉が送られました。新入生は熱心に聞き入り、清白な式となりました。

入学式後は、学科ごとに分かれ、懇談会とオリエンテーションが行われました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。充実した学生生活をお過ごしください。



ソフィア館ロビー・リニューアルにあたり、保護者会に感謝状を贈呈

開催日:2022年4月9日(土)

生活環境学科「住環境ゼミ」の学生が、京都ノートルダム女子大学構内のソフィア館1階ロビーを新しくインテリアコーディネートするプロジェクトに取り組みました。

2021年10月からスタートしたこのプロジェクトは「学内で寛げる、快適な空間作り」をコンセプトに机と椅子を新調、配置検討からロビーの壁面に飾るウォールグリーンまで学生のお手製です。照明も新調し、白と赤を基調としたスタイリッシュな空間に生まれ変わりました。自販機も設置され、日々多くの学生・教職員が利用しています。

この取組みに賛同し、補助金提供をいただいた保護者会への感謝状贈呈式を4月9日に執り行いました。中村久美学長から保護者会の秋山会長に感謝状が手渡

され、リニューアルに携わった学生から完成までのエピソードが披露されました。

保護者会会長をはじめ保護者メンバーの皆さんと、新しい寛ぎ空間を共有する貴重な機会となりました。



公開講座

「平安貴族のくらしとファッション」を開催

開催日:2022年5月14日(土)

5月14日(土)、公開講座「平安貴族のくらしとファッション」を開催しました。

本学名誉教授の鳥居本幸代氏が、専門分野である平安貴族のくらしとファッションについて、当時の食生活や生活様式、しきたり等の歴史を背景に、さまざまな写真を織り交ぜながら解説

演内容から、平安貴族の暮らしの様子を伺い知ることができました。

参加者の多くから質問があがるなど活発なやりとりが交わされた公開講座となりました。



カトリック教育センター主催

春の講演会「神谷美恵子とフランクルー苦難の経験が開く地平」
オンライン開催

開催日:2022年5月21日(土)

5月21日(土) 15:00から16:30まで、日本有数のキリスト教思想の専門家である白百合女子大学カトリック教育センター教授の釘宮明美氏をお招きし、オンライン(Zoom)による春の講演会を開催致しました。釘宮氏のご専門は森有正、神谷美恵子、エディット・シュタインを中心とするキリスト教思想やキリスト教と文学で、大学等でのキリスト教教育の分野でも活躍されています。

今回の講演は、神谷美恵子とフランクルという苦難の人がそれぞれ交差する主題、時代、歩んだ道を通して、私たちが直面する生きていく上での様々な苦難や苦悩というものに対して、何らかのヒントや経験が開いていく地平があるのではないかと、という大きな問いかけについて丁寧にお話しくださしました。

コロナ禍により今回も昨年同様、全面オンラインで開催いたしましたが、約100名の熱心な参加者で盛況でした。普段なかなか京都までお越しになれない首都圏など遠隔地からの参加者が多かったことは、オンラインならではのことでした。



福祉生活デザイン学科

酒井ゼミによるパン・三好ゼミによる炭酸ヨーグルトを販売

開催日:2022年5月25日(水)

5月25日(水)、現代人間学部福祉生活デザイン学科(現:生活環境学科)酒井ゼミが、地域の福祉施設「飛鳥井ワークセンター(Harvesthome HOLYLAND)」と協働で学内定期パン販売を行いました。

同日、三好ゼミと矢島ゼミが障害者就労継続支援B型 パッソ(京都市北区)が運営する「スムージーハウスパッソ」と協働して、炭酸ヨーグルトも販売しました。

「福祉生活デザイン特論」ゼミのひとつ、地域福祉と活動ゼミ(担当教員:酒井久美子教授)では、2016年度から飛鳥井ワークセンター(障がい者自立支援事業所)の焼きたてパンの販売を事業所の皆さんと協働で取り組んでいます。

人間関係と共生を考えるゼミ(担当:三好明夫教授)では、地域の障がい者を正しく理解することを目的として、5年前からNPO法人プエルタ(京都市北区)との交流をスタート、昨年から同法人の障害者就労継続支援B型 パッソ(京都市北区)との交流が始まりました。レクリエーション大会や茶話会等で交流を

重ね、学生の意向から、学内でパッソとプエルタの商品を販売しています。

これらの活動が、障害者の方々の社会参画の促進、売上が給料に繋がることから、長期に渡って活動を続けています。感染拡大防止対策のため入室人数を制限しながらの販売ですが、多くの学生や教職員が焼きたてパンと冷たい炭酸ヨーグルトを購入し、会場に行列ができるほど賑わいを見せています。

【前期販売日程】

5月25日、6月8日、6月22日、7月13日、7月27日

【後期販売日程】

10月12日、10月26日、11月9日、11月30日、12月14日、1月11日

いずれも水曜日、12:15~13:10

※学内の教職員・学生が販売対象となり、学外の方は購入できません。



2022年度ソーシャルワーク現場実習報告会を開催

開催日:2022年6月9日(木)

6月9日(木)、2022年度ソーシャルワーク現場実習報告会を開催しました。

本学学生の実習を受け入れてくださっている福祉施設・機関や医療機関の先生方と、昨年度実習を終えた4年次生ならびに「ソーシャルワーク実習指導II」を受講する3年次生が参加し、講演と対談、4年次生(2名)からの実習報告と合わせ、実習指導者による助言・指導が行われました。報告会の内容は、下記のとおりです。

社会福祉士養成課程は2020年度入学生が最後となるため、今回の報告会で実習施設の皆様にご参加いただくのも最後となります。後輩が先輩の活動報告を聞く形での報告会も最後となりますが、活発な質疑応答が交わされるなど、これから実習を迎える学生は熱心に学んでいました。

これまで現場実習に取り組んだ学生は、今年度の学生も含めて412名となります。社会福祉士養成は終了しますが、今後は引き続き、現代人間学部生活環境学科精神保健福祉コースの福祉現場で活躍できる人材を育成し、また、福祉事業所のみならず、協働活動にもさらに取り組み、福祉の心を伝え続けてまいります。



第一部 講演会・対談

【基調講演】『社会福祉士養成を振り返って』

野村 武夫 氏(元本学教授)

【対 談】『社会福祉士とは何か、ソーシャルワークとは何か』

野村 武夫 氏(元本学教授)

三好 明夫教授(現代人間学部生活環境学科教授)

第二部 実習報告

【実習報告①】実習施設 社会福祉法人京都社会事業財団

介護老人福祉施設 にしがも舟山庵
(発表者) 山野 夏奈/実習指導者 大畠 れん 様
(担当教員) 三好 明夫教授

【実習報告②】実習施設 社会福祉法人清和会みわ

特別養護老人ホームみわの里
(発表者) 松村 優希菜/実習指導者 大槻 智也 様
(担当教員) 三好 明夫教授

Zoomによる海外交流授業

出口が見えないコロナウイルス感染蔓延、海外への研修旅行が実施できない状況の中、国際日本文化学科はオンラインで香港中文大学専修進修学院の日本語科の学生との国際交流を模索してきました。その試みのひとつとして、前期科目の「国語学概



論」「国文学概論」「スピーチの基礎」のうちの1回～2回を香港の学生にオープンし、リアルタイムで本学授業を体験してもらうことにしました。

さらに「発展演習」では、香港の学生とオンラインで、互いの文化についてディスカッションを行いました。写真資料を共有しながら食、観光、若者言葉の話に花を咲かせました。香港の学生から、日本の経済、政治などの時事ニュースに関する質問が続きつぎと出され、本学の学生も果敢に、率直に回答をし、双方の学生とも大いに刺激を受けたようです。

このように、IT技術の恩恵により、海外はより身近な存在となり、教室にいながらも多文化交流が可能になりました。後期ではマカオ旅遊学院との交流も企画しているところです。(文責:朱 鳳)

前期卒業式・学位授与式が執り行われました

開催日:2022年9月22日(木)

2022年9月22日(木)、ユージニア館3階の聖堂にて前期卒業式を執り行いました。新型コロナウイルス感染防止のため、列席者を制限しての式典となりましたが、卒業生は本学伝統のキャップとガウンを身にまとい、凛とした表情で式に臨んでいました。

中村久美学長から一人一人卒業証書が手渡され、「世界の大変革期を迎えている中、生き方、考え方を変えねばならない臨界点に立っていることを自覚し、自分に何ができるか、いかに行動すべきか、真摯に問い続けてください。その自問自答の繰り返しにより成長していく皆さんたちによって、世界が変わることを願わずにはおられません。そのように生きる皆さんの人生が、充実した

ものになりますように、お祈りしています。」との式辞が述べられました。

式典終了後はお世話になった教員との別れを惜しみながらも、晴れやかな笑顔で記念撮影をする様子が見られ、卒業生5名は希望を胸に未来に向かって新たな一歩を踏み出しました。



2022年度科研費採択について

科学研究費助成事業(科研費)は、日本政府全体の「競争的資金」の5割以上を占める我が国最大規模の研究助成制度です。研究者の自由な発想に基づく研究を進展させることを目的としています。

2022年度は本学の教員が「研究代表者」として申請した研究が新たに3件採択され、昨年度以前からの継続研究と合わせ

て、本学教員が研究代表者である研究課題は計29件となりました。このほか、本学の教員が、「研究分担者」として共同研究を行っている課題が27件あります(2022年7月現在)。

本学では、科研費による研究のほかにも、各分野でさまざまな研究が行われ、研究成果は学生への教育に生かされるとともに、よりよい社会の実現や学術の発展に貢献しています。

2022年度の新規採択課題(本学教員が研究代表者)

所属・職名	研究代表者氏名	研究種目	研究課題名
英語英文学科 教授	小山 哲春	基盤研究(C)	対人言語コミュニケーション能力の社会認知基盤に関する実証的研究
生活環境学科 准教授	大風 薫	若手研究	未婚女性のライフコースと金融ケイバビリティ:貧困リスクの低下に向けた実証研究
心理学科 准教授	空間 美智子	基盤研究(C)	価値割引実験を用いた発達障害児の社会性と衝動性の定量的分析

ND教育センター

2022年度から「京都連合教職大学院」(京都教育大学大学院 連合教職実践研究科)に加入

京都教育大学大学院連合教職実践研究科は、「実践的指導力を備えた若手教員のコア及びスクールリーダーの養成」を目的として、京都の国私立大学が京都府・京都市教育委員会、公立学校が協同して設置した全国初の連合教職大学院です。

連合を構成する京都教育大学、京都産業大学、京都女子大学、京都橋大学、同志社大学、同志社女子大学、佛光大学、龍谷大学の8大

学に加え、本年度、京都光華女子大学と本学が加入しました。連合教職大学院は、参加する各大学の教員が専任教員として、教育・研究及び運営に携わります。本学からは、こども教育学科の網谷綾香准教授(教育心理学)が授業を担当します。また、連合を構成する大学の学生は、京都連合教職大学院の推薦入試の対象になります。

図書館情報センター

図書館内展示について

展示場所:図書館1階 展示コーナー

<祇園祭>

展示期間:2022年7月14日~9月末

図書館を盛り上げる有志学生「ライブラリー・メイト」による企画展示です。3年振りに賑わいの戻る祇園祭について、知るための資料や舞台にした小説など、学生それぞれの視点で紹介してくれました。

他にも、京都三大祭である葵祭(賀茂祭)や、全国の祭についての資料も展示するなど、祇園祭をきっかけとして日本の伝統についても学べる機会となりました。

<マスクの世界—時代とともに変化しつづけるマスク>

展示期間:2022年7月28日~10月6日

「博物館実習I」受講生による模擬展示です。コロナ禍ですっかり身近になったマスクをテーマに取り上げ、歴史・機能・ファッション性の三つの観点からアプローチしました。

なお、11月からはライブラリー・メイトによる新たな展示を予定しています。機会がありましたらどうぞお立ち寄りください。



ND教育センター

学習アドバイジング・教職課程支援のご案内

ND教育センターでは、文章作成の基礎などの学習アドバイジング、教職課程履修者への支援を行っています。

●文章作成アドバイジング

学習相談

文章作成の基礎に関する相談を、ND教育センター事務室で受け付けています。

オンライン講座「文章作成の基礎づくり」

manabaで「文章作成の基礎づくり」を行っています。センターが提供する文章作成に関する課題に学生が取り組むことにより、苦手意識を克服し、段階的に文章作成の基礎を身につけていきます。

●教職課程支援

教職課程に関すること、教員採用試験に関するガイダンス・説明会や対策講座、教職大学院や教師塾の案内など。

詳細やイベントスケジュールなどは、各オリジナルサイトやTwitterで確認してください。

オリジナルサイト



Twitter

センターからのお知らせやイベント、大学の「いま」をお届けしています。



Instagram

センターや大学の様子、イベントレポートなど、大学の「実際」をお届けしています。



キャリアセンター

2022キャリア形成ゼミスタート!

社会人として必要な力を身につけるキャリア形成実践科目「キャリア形成ゼミ」。11年目となる今年度は、新たに3つのゼミを加え、7つのゼミ体制でスタートしました。ゼミの集大成となる成果発表会が2023



①環境エネルギービジネス探訪ゼミ(継続)



②Withコロナの新しい嵐山観光を考えるゼミ(継続)



③ワークショップ・デザインゼミ(継続)



④ブライダル業界ゼミ(継続)

年1月18日(水)5限に行われます。受講を考えている1・2年生はぜひご参加ください。



⑤情報発信の楽しさと大切さを体感するフリー情報誌・企画編集ゼミ(新規)

滋賀で発行しているフリーマガジン「チェキポン」の誌面に実際に掲載する原稿について、20代前半女性の視点から、発信すべき情報や求められている情報を精査し、設定したターゲットに「響く」誌面企画・取材・編集を実践するゼミです。



⑥老舗銘菓商品企画ゼミ(新規)

「学生の視点から考える女性のライフキャリアとビジネスの可能性」を目指して、老舗銘菓商品の企画立案・PR広報から販売の計画を行い、実践をするまでのゼミです。



⑦仕事と育児の両立体験・ライフデザイン探求ゼミ(新規)
※ゼミの内容はP5のNewsをご参照下さい。

行事予定

2022年 10月	3日(月) 5日(水) 6日(木) 12日(水) 14日(金) 14日(金) 15日(土) 17日(月) 24日(月) 28日(金) 29日(土) 31日(月)	図書館:夏期長期貸出返却期限日 【全】③キャリアガイダンスII(4.5講時いずれかに必須参加) グローバル英語コース留学説明会II 海外研修説明会 【英文】④卒論草稿提出締切(17:00) 【国語】④卒論草稿提出(17:00) 補講日 【心理】④卒業論文ラフコピー提出締切(17:00) 履修中止届出期間(28日(金)まで) ND祭準備(授業なし) ND祭(30日(日)とも) 【現心】④卒業研究本題目提出締切(17:00) 【現心】④卒業論文本題目・ラフコピー提出締切(17:00)
11月	2日(水) 5日(土) 9日(水) 9日(水) 12日(土) 15日(火) 19日(土) 23日(水祝) 24日(木) 26日(土) 26日(土)	【こども】②ゼミ分属説明会(5講時) TOEFL ITPテスト(希望者対象9:15~) 【全】④日本学生支援機構奨学金返還説明会(10日(木)とも) 【現心】②心理学演習ゼミ選択説明会(16:40~) (学内立入禁止)指定校入試 物故者追悼ミサ(午前授業なし) 補講日 (学内立入禁止)学校推薦入試I期 【国語】②ゼミ分属説明会 補講日 図書館:冬期長期貸出開始(大学院生)
12月	1日(木) 1日(木) 2日(金) 3日(土) 4日(日) 8日(木) 9日(金) 9日(金) 10日(土) 10日(土) 10日(土) 14日(水) 15日(木) 15日(木) 15日(木) 17日(土) 20日(火) 21日(水) 22日(木) 24日(土) 25日(日) 28日(水) 29日(木)	【英文】④卒論提出締切(17:00) 【福生テ】④卒論提出締切(12:00) 【現心・心理】④第1回認定心理士説明会(16:40~) 補講日 【英文】①②③と④GE生英語英文学科指定TOEIC-IP 創立記念日(授業実施) 【国語】④卒論提出締切(17:00) 【生環】②ゼミ選択説明会 図書館:冬期長期貸出開始(学部生) カトリック女子大学総合スポーツ競技大会(11日(日)とも) 【全】①②③日本学生支援機構奨学金継続説明会(15日(木)とも) 【こども】④卒論提出締切(17:00) 【心理】④卒業論文・要約集原稿提出締切(17:00) 【現心】④卒業研究発表会資料・要約集原稿提出締切(17:00) (学内立入禁止)学校推薦入試II期 ノートルダムクリスマス(午後授業なし) 【福生テ】④口頭試問(13:10~) 【現心】④卒業論文・要約集原稿提出締切(17:00) 冬期休暇(1月5日(木)まで) (クリスマスの休日) 窓口事務取扱休止 年末年始一斉休業(窓口事務取扱休止)(1月5日(木)まで)
2023年 1月	4日(水) 6日(金) 6日(金) 7日(土) 7日(土) 7日(土) 7日(土) 11日(水) 11日(水) 11日(水) 12日(木) 13日(金) 13日(金) 14日(土) 18日(水) 21日(土) 25日(水) 25日(水) 27日(金) 28日(土) 30日(月) 31日(火) 31日(火) 1月末	窓口事務取扱休止(5日(木)とも) 授業再開 【生環】コース分属説明会(13:10~) TOEIC ITPテスト(希望者対象9:30~) 【国語】④口頭試問 【現心】④卒業研究発表会(全日) 【生環】①資格説明会 【全】③キャリアガイダンスIII(4.5講時いずれかに必須参加) 図書館:春期長期貸出開始(大学院生) 【福生テ】③卒論テーマ届出締切(12:00) 図書館:冬期長期貸出返却期限日 【現心・心理】④第2回認定心理士説明会(16:40~)、社会調査士説明会(認定心理士説明会后) 補講日 【現心】③公認心理師説明会(16:40~) 補講日 図書館:春期長期貸出開始(学部生) 【こども】③④卒論発表会(3講時) (学内立入禁止)一般入試I期 補講日 後期授業最終日 定期試験期間 ※定期試験のほか補講を行うことがある。(2月7日(火)まで) 【こども】③卒論題目提出締切(17:00) 【現心・心理】④口頭試問(2月初旬まで)
2月	6日(月) 8日(水) 8日(水) 11日(土祝) 24日(金)	リーダーズセミナー(7日(火)とも) 【福生テ】④③【生環環境】①②卒業研究発表・懇談会 春期休暇(3月31日(金)まで) 大学院入試II期 (学内立入禁止)一般入試II期
3月	1日(水) 1日(水) 1日(水) 10日(金) 11日(土) 15日(水) 22日(水) 22日(水) 23日(木) 31日(金)	後期追試験(1~3年次生) 卒業予定者再試験 転学部・転学科試験 キャップ・ガウン試着日(卒業予定者) 卒業式・学位授与式・卒業祝賀パーティー (学内立入禁止)一般入試III期 【全】新②③④仮登録科目1次募集期間(3月25日(土)まで) 定期健康診断 定期健康診断 編入生オリエンテーション(午前)、外国人留学生オリエンテーション(午後)

※①・②・③・④については、学年の数字を表します。(例:①→1年次生、②→2年次生)
※掲載されている情報は2022年9月中旬時点のものです。

2021年度卒業生就職・進路実績

2021年度卒業生については、就活スタート時からコロナ禍による影響を大きく受け、企業側・学生・大学のそれぞれが試行錯誤と手探りの状況が続く中で就活となりました。

今まで対面を基本としていた就活のスタイルも、急激にオンライン化が進み、WEB面談、説明会のオンライン等によるニューノーマルなマナーの

対応や、オンラインならではの効果的な就活ノウハウへの適応が求められ、大きな負担が生じる中においても一人一人が最後まで諦めずに活動を続けた結果、最終就職決定率は2020年度卒業生を2.1ポイント上回る97.4%を達成することが出来ました。具体的な主たる進路先の抜粋は以下の通りです。

建設	共同エンジニアリング(株) キタイ設計(株)
製造	(株)村田製作所 (株)アルピオン 東レエンジニアリング(株) マルホ発條工業(株) 日本フネ(株) タキイ種苗(株) (株)ファンケル (株)サマンサタバサジャパンリミテッド (株)一澤信三郎帆布 (株)パッファロー (株)中川政七商店 (株)進々堂 (株)おうすの里
情報通信	(株)コスモネット 産経新聞開発(株) (株)プロネクサス
運輸・郵便	日本交通(株) エムケイ(株)
卸売・小売	(株)京阪百貨店 (株)ホンダカース浜松 (株)マツモト (株)ソフマップ トヨタカローラ京都(株) (株)平和堂 京滋ユアサ電機(株) (株)ラコステジャパン ダンロップタイヤ近畿(株) (株)ビバホーム
金融・保険	滋賀県信用組合 京都北都信用金庫 アクサ損害保険(株) 大阪信用金庫 (株)島根銀行 (株)かんぽ生命保険
宿泊・飲食サービス	(株)星野リゾート・マネジメント (株)京王プレッソイン (株)レイ(ANAクラウンプラザホテル岡山) リゾートトラスト(株) (株)ベッセルホテル開発 (株)ホテルニューアワジ

生活関連サービス・娯楽	松竹芸能(株)
教育、学習支援	(学)宮田学園/日本語教員 滋賀県教育委員会/中・家庭 京都府教育委員会/小 京都市教育委員会/小 滋賀県教育委員会/小 兵庫県教育委員会/小
幼稚園・保育園	(学)真利学園/幼 (学)誠昭学園/幼 (学)小島学園/幼 日野町役場/保 (福)慈光会/保 (福)永興福祉会/保 (福)草津保育園/保
医療・福祉	社会医療法人美杉会 メディカル・ケア・サービス(株) NPO法人バウムカウンセリングルーム 洛和会ヘルスケアシステム (福)京都老人福祉協会 京都府立医科大学附属病院 滋賀県立小児保健医療センター
複合サービス	京都中央農業協同組合 レーク滋賀農業協同組合 とびあ浜松農業協同組合 全国自動車共済協同組合連合会
サービス	(株)クリーク・アンド・リバー社 日本テクノロジーソリューション(株) (株)ピケンテクノ JA共済ビジネスサポート(株) 城南宮
公務	京都市役所 福知山市役所 陸上自衛隊 航空自衛隊
進学	京都教育大学大学院 京都ノートルダム女子大学大学院 大阪教育大学連合教職大学院 立命館大学大学院 同志社大学大学院

編集後記

2022年は、3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィーク、お盆休みとなりました。本学でも原則全面对面授業をスタートさせ、入学式典への保護者参加や留学の再開(一部制限あり)など、少しずつ従来の姿を取り戻しつつあります。これから迎えるND祭など、学生の活発な活動の様子は誌面にてご確認ください。

秋から冬は入試の季節でもあります。大学を取り巻く環境は厳しさを増す一方ですが、学生達の活躍に負けぬよう、新設の社会情報課程をはじめ、全学科笑顔で新入生を迎えられるよう、教職員も業務に邁進しています。

企画広報課 長野留三子

京都ノートルダム女子大学 大学報
NDキャンパス通信 Vol.17

2022年10月1日

編集・発行/ 京都ノートルダム女子大学 企画広報課
〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地
URL: <https://www.notredame.ac.jp>
E-mail: kikaku-koho@ml.notredame.ac.jp
印刷/ 株式会社ティ・プラス

本誌は京都ノートルダム女子大学保護者会の資金援助を一部受けています。
※掲載している情報は取材時のものです。